

報告事項 5

愛知県義務教育問題研究協議会の報告について

このことについて、別紙資料に基づき報告します。

平成28年3月28日

義 務 教 育 課

いつまでも家庭・地域から信頼され続けるために

ちょっとした気配りによって、いつまでも家庭・地域から信頼され続けることができます。以下の点をチェックして、積極的な情報発信をしていきましょう。

チェック

1 「学校としての願い」を伝えるために適切な方法で情報発信をしましょう。

- 「Plan」で明確にした「学校としての願い」を家庭・地域に伝えるために適切な方法か、何か工夫できることはないかななどを検討してから情報発信をしましょう。

【具体的な例「修学旅行の様子を保護者に紹介する場合」】

- ・子どもが楽しく活動していることを伝えたい →リアルタイムの子どもの姿をWebページで
- ・旅行中に保護者を安心させたい →子どもの健康状態や急な日程変更をメール配信で
- ・旅行を通して子どもが成長したことを伝えたい →旅行の感想やエピソードを学年・学級通信で

チェック

2 家庭・地域を混乱させないように、情報発信の方法を整理しましょう。

- 「学校からの文書が多すぎて、何が大切かわからない」という声が聞こえてきたり、発信する情報が食い違っていて、「どれが本当なのか」という問合せが寄せられたりすることがあります。内容ごとに情報発信の方法を整理することで混乱は避けられるのではないのでしょうか。

【内容ごとに情報発信の方法を整理する具体的な例】

- ・学校経営方針や校長の思いは**学校通信**で
- ・学習予定、学年行事のねらいや連絡、子どもの頑張りは**学年通信**で
- ・授業における子どもの姿、子どもの成長や担任の思いは**学級通信**で
- ・日々の出来事や子どもの活躍は**Webページ**で
- ・学校からの緊急連絡は**メール配信**で

よく分かるわ。

チェック

3 大切な情報が確実に伝わるように工夫しましょう。

- 情報が確実に家庭に伝わるよう、子どもに通信や案内文書の大切さを理解させましょう。
- 家庭・地域の状況を考えて、どのような方法が適切か検討し、各学校で工夫しましょう。
- 情報が伝わっているか、確認する方法を考えましょう。

【具体的な例】

- ・外国人児童生徒の保護者向けに、母国語の通信や案内文書を用意する。→事例2
- ・子どもや教職員が、地域の方々へ通信や案内文書を直接届ける。→事例5
- ・学校への提出文書を配付する時は、あらかじめメール配信にてその主旨を伝える。→事例10

チェック

4 個人情報の扱いには注意しましょう。

- 子どもの写真を掲載する際には、次のような気配りをしましょう。
- ・子どもの顔と名前を一緒に掲載することは避けましょう。
- ・顔がアップされた写真は避け、多くの子どもが写っているものを使用しましょう。
- ・保護者の了解を得てから掲載しましょう。



【子どもが特定されない写真の掲載】

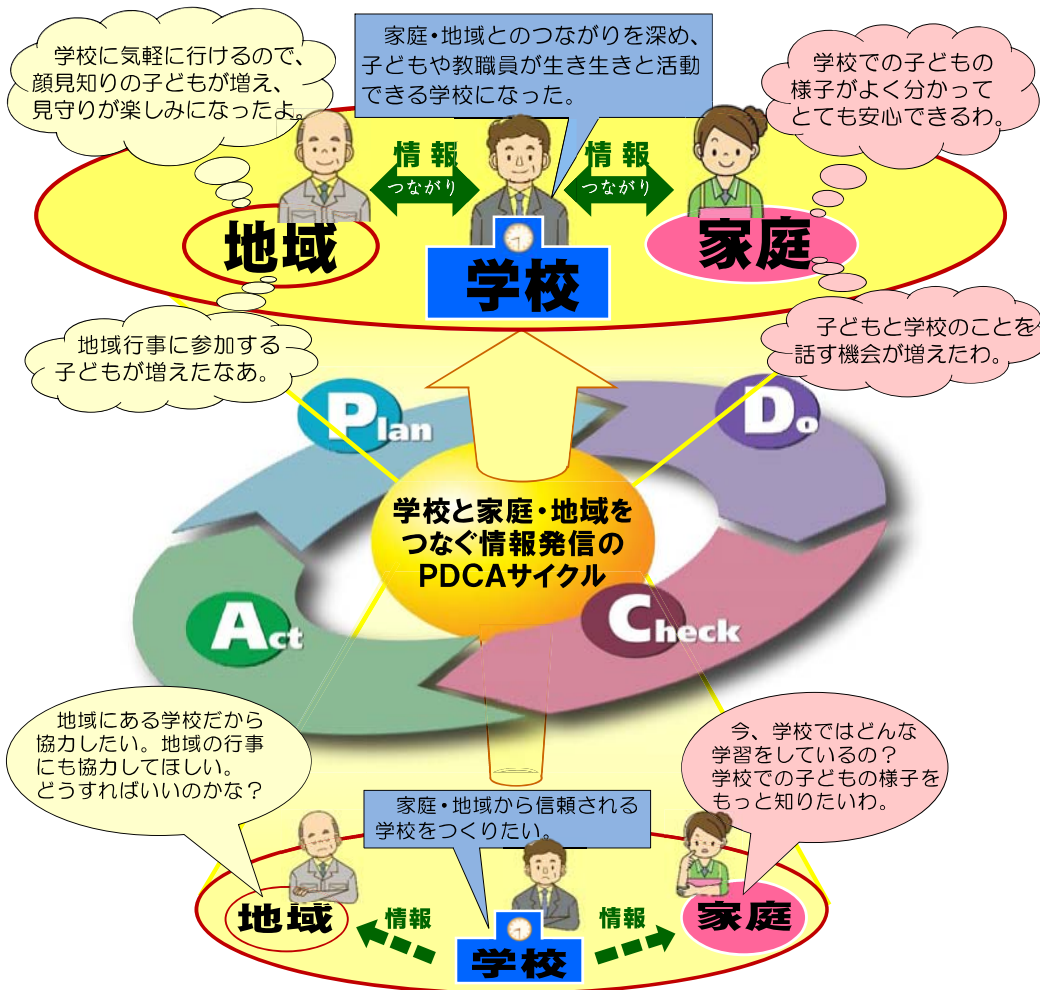
チェック

5 著作権の侵害には注意しましょう。

- 特に、Webページに掲載する際には、次のような気配りをしましょう。
- ・インターネット上に掲載されている写真、イラスト等は、第三者の著作権を有しているものがほとんどなので、使用の可否を確認したうえで、掲載しましょう。
- ・新聞や雑誌などの記事にも著作権があります。引用の範囲を越えて掲載すると著作権の侵害に当たるので注意しましょう。

「学校からの情報発信の在り方」リーフレット

子どもの笑顔を家庭・地域に届けよう



愛知県の小・中学校では、積極的な情報発信が行われています。とりわけ、「子どもの笑顔を届けたい」という強い思いを持って情報発信をしている学校は、家庭・地域とのつながりを深め、子どもや教職員が生き生きと活動する学校をつくり上げています。

私たちは、『学校と家庭・地域をつなぐ情報発信のPDCAサイクル』を用いて自校の情報発信の在り方を振り返ることで、より一層、家庭・地域から信頼される学校となるを考えました。このリーフレットが、効果的な情報発信の在り方を考えるきっかけとなることを願っています。

『家庭・地域をつなぐ情報発信のPDCAサイクル』って何？

愛知県義務教育問題研究協議会
愛知県教育委員会

Plan
～計画する～

「学校としての願い」を明らかにして、情報発信の計画を立てよう

学校や地域の現状から、「学校としての願い」を明らかにし、「家庭・地域とのつながりを深めるために」という目的をもって、情報発信の計画を立てましょう。

【「学校としての願い」の具体的な例】

- ・家庭・地域の方々に、**学校での子どもの姿**を見てほしい→事例1
- ・**外国人児童生徒の保護者**にも確実に情報を伝えたい→事例2
- ・**家庭・地域からの協力**を得て、健やかな子どもを育てたい→事例3
- ・**担任の思いや子どもの活躍する姿**を伝えたい→事例4
- ・地域の**多くの方々に来校**してほしい→事例5
- ・**学校のサポーター**を増やしたい→事例6
- ・**“子どもの輝く姿”**を家庭・地域にタイムリーに伝えたい→事例7
- ・学校の話で、**親子のコミュニケーション**を広げたい→事例8
- ・子どもの**学力や学習習慣**を向上させたい→事例9
- ・子どもを**安全に登下校**させたい→事例10
- ・家庭・地域の方々の**反応**をすぐ知りたい→事例11



【通信による親子のコミュニケーション】

Point 家庭・地域とのつながりを深めるために、学校は何を伝えればよいのか、学校が求められていることは何かを検討した上で、「学校としての願い」を明らかにしましょう。

Do
～実行する～

発信する内容に合った適切な方法で積極的に情報発信しよう

通信や案内文書、授業参観などの学校公開や懇談会、メール配信やWebページ等、情報発信の方法はたくさんあります。しかし、どの方法にも長所・短所があります。「学校としての願い」を伝えるために必要な内容を、その内容に合った適切な方法で積極的に情報発信しましょう。

【発信する内容に対する情報発信の方法の具体的な例】 ※ 適切と考える情報発信の方法を○で示します。

情報発信の方法	通信 案内文書	授業参観 懇談会	We b ページ	メール 配信	訪問 電話
子どもの輝く姿（授業・行事）	○→事例4	○→事例1	○→事例7		○→事例5
学校の教育方針・活動のねらい	○→事例3	○	○		
学校からの連絡（行事・注意喚起）	○→事例2		○→事例8	○	
子どもの実態（学力・生徒指導問題）	○		○→事例9		○
学校からの緊急連絡（安全・安心情報）	○			○→事例10	○

Point 全ての方々に伝わる完璧な情報発信の方法は存在しません。より多くの方々に、より確実に伝わるよう、各学校で情報発信の方法を工夫しましょう。



【計画的な授業参観の設定】



情報発信の在り方を振り返り、次の情報発信に生かそう

受け手の反応から、実施した情報発信の方法が有効であったか、確実に家庭・地域に届いていたかなどを振り返り、次に情報発信するとき、どう改善すべきかを考えます。そして、より有効な情報発信の在り方を模索していきましょう。

【次への生かし方の具体的な例】

- ・Webページで学校公開日の案内をしたが、地域の方々の参加をもっと増やしたい。今度は、案内を地区の回覧板で回してもらおう。



【児童生徒が通信等を読む時間の設定】

- ・「子どもがどんな勉強をしているか知りたい」という感想が多く寄せられた。授業風景をWebページに掲載しよう。
- ・保護者から「毎週、学年通信が発行されるので学校の様子がよく分かる」という意見をもらった。今後も継続していこう。

Point 不十分な点ばかりを反省するのではなく、良かった点にも着目して、「そのまま持続しよう」、「更に良くしよう」という思いを持って、次の情報発信に生かしましょう。

発信した情報に対する受け手の反応を確認めよう

学校は、発信した情報が家庭・地域の方々に確実に伝わり、活用されているか、受け手の反応を確認しましょう。

【受け手の反応を確認する具体的な例】

- ・授業参観や懇談会、学校行事に参加した保護者や地域の方々から感想を聞く。
- ・地域の行事等で顔を合わせたときに、積極的に尋ねる。
- ・PTAの集まりや地域懇談会の折、学校の情報発信についての意見交換ができる場を設ける。
- ・Webページのアクセス数を調べる。
- ・学校評価のアンケート結果を利用する。
- ・行事後に即時アンケートを実施する。→事例11



【学級懇談会における通信等の感想収集】

Point 保護者からモニターを募り、学校通信やWebページの感想をもらうという方法もあります。各学校で様々な方法を試してみましょう。

Act
～改善する～

Check
～確かめる～

情報発信する前に、チェックすることは？

Plan

家庭・地域の方々に学校での子どもの姿を見てほしい

現状

- ・約20年前に開校した新しい学校。新興住宅地があり、核家族で共働きの保護者が多い。
- ・地域には協力的な方々が多いが、本校の卒業生が少ないため、「学校や子どものことをもっと知りたい」という声をよく聞く。

計画

学校での子どもの様子を見ていただく機会を設定し、子どもの生の姿を見てほしい。



Do

学校公開日・参観日を定期的に設定し、分かりやすい案内を配付する

- 学校を自由に参観できる学校公開日を学期に1回程度、1時間の授業を参観できる授業参観日を2か月に1回程度設定し、分かりやすい案内文書を配付する。

【A小学校の取組の詳細】

- ※ 教科や授業する場所を示した案内文書を家庭へ配付し、地域へはWebページで案内している。
- ※ 学校公開日は、一日もしくは半日、授業や給食、掃除等の様子を自由に参観できる日としている。

- 一日の予定、各クラスでどのような授業が行われるか、分かるようにしている。
- 保護者参加型授業を行うこともある。

- 『親子防災教室』のテーマ「避難所体験をしてみよう～今、あなたにできること～」と、具体的な活動内容が分かるようにしている。

保護者 各位 平成27年9月17日
A市立A小学校長

第2回学校公開日及び「親子防災教室」の御案内

残暑の候、保護者の皆様には、御清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、ありがとうございます。

さて、第2回学校公開日を下記のように実施します。また、今回は第5校時に「親子防災教室」を開催いたします。〇〇先生を講師にお招きし、通学団別に集まって体験ワークショップ形式の活動を行う予定です。是非、御家族の皆様で御来校いただき、子どもたちの活躍の様子を参観していただくとともに、喫緊の課題である「南海トラフ大地震」等の地震対策を御家族で考える機会にさせていただきますよう御案内申し上げます。

記

1 日 時 平成27年10月23日(金) 8時50分～

2 日 程

学年	組	第1校時	第2校時	第3校時	第4校時	第5校時
1年	1組	5:50～9:35	9:45～10:30	10:50～11:35	11:45～12:30	14:00～14:45
	2組	算数【教室】	算数【教室】			
2年	1組	国語【教室】	体育【運動場】	生活科「サツマイモの収穫祭」 【学級菜園】		
	2組	算数【教室】	国語【教室】			
3年	1組	算数【教室】	理科【理科室】	体育「縄跳び大会」【運動場】		給食、 清掃、 昼休み
	2組	算数【教室】	国語【教室】			
4年	1組	算数【教室】	国語【教室】	学活「宿泊学習反省会」【集会室】		親子防災教室 【体育館】
	2組	国語【教室】	算数【教室】			
5年	1組	道徳【教室】	社会【教室】	学活「修学旅行報告会」【体育館】		
	2組	国語【教室】	算数【教室】			
6年	1組	理科【理科室】	算数【教室】			
	2組	理科【理科室】	算数【教室】			
特別支援	4組	生活単元学習「お店屋さんをもう」 【3組教室】	協力学級へ			

※ 午前中は、授業や休み時間の様子を御自由に御参観ください。
※ 14時から「親子防災教室」を行います。児童は13時55分に体育館へ入場しますので、保護者・地域の皆様はそれまでに体育館にお入りください。

3 親子防災教室について
(1) テーマ「避難所体験してみよう～今、あなたにできること～」
(2) 講師 愛知県〇〇地区〇〇〇〇の会 〇〇〇〇氏
(3) 内容
① 避難所体験…校長・教頭・校務・地区町内会長・PTA役員が避難所担当全ての家族が避難民になった想定でロールプレイを行う。
② 体験ワークショップ…通学団を4ブロックに分け、「簡易トイレ」、「備蓄毛布、投光器、はそり鍋の展示」、「アルファ米の試食」、「間仕切り用段ボールと防災グッズの展示」の四つのブースを順に見学する。

<本件連絡先 A市立A小学校 教頭 〇〇〇 〇〇〇-〇〇〇〇>

Check

ほとんどの保護者が参観し、約80%が満足

- ・都合のつく時間に来校できるので、ほとんどの児童の保護者が参加した。親子防災教室に関しては、ほぼ100%の参加率であった。地域の方の参加も増えてきた。
- ・学校評価アンケートでは、約80%の保護者が学校公開日に満足しているが、「イベント的なものでなく、ふだんの授業が見たい」や「平日の参観は難しい」という意見があった。

Act

更に多くの方々に参観してほしい

- ・保護者には、4月の初めに年間行事計画を配付し、1年間の予定を知らせた上で、1か月前には案内を出し、1週間前には、授業内容の分かる案内を出すようにしたい。
- ・地域には、参加の案内を回覧板で回して、周知するようにしたい。

更に多くの方々に学校での子どもの姿を見てもらい、学校を理解してもらいたい。

Plan

外国人児童の保護者にも確実に情報を伝えたい

現状

- ・年々外国人児童の割合が増え、現在は全校児童約300名中、約180名が在籍している。
- ・学校生活の中で、日本語を覚えていく外国人児童は多いが、日本語を理解できる保護者は少なく、学校からの連絡を伝えるのに苦労している。



計画

発信方法を工夫して、全ての児童の保護者に学校からの情報を確実に伝えたい。



Do

外国人児童の保護者向けの通信や案内文書を作成し、配付する

○ ポルトガル語やフィリピン語、英語に翻訳した通信を作成し、配付する。

【B 小学校の取組の詳細】

- ※ 日本語版の裏面にポルトガル語版を印刷している。
- ※ 日本語版の重要な語句に、フィリピン語と英語を併記して配付している。
- ※ 学校用PCの専用フォルダに通信等を入れておくと、通訳の方が翻訳してくれるシステムを構築した。

Revisão das atividades do setembro

9月の行事の様子

Treino de prevenção contra acidentes

避難訓練

No 1/9 (ter) realizamos 2º treino deste ano de evacuação na hora do desastre. o treino desta vez foi para o terremoto. Quando há fluxo de alerta precoce, esconder sob a mesa imediatamente. Após agitação acalmar ,abrigamos no Ginásio. Desta vez fizemos a pesquisa de treinamento. Estar consentizados sempre para acidentes é fundamental.



- ポルトガル語版通信の一例「避難訓練」の記事。日本語版と同じレイアウトにしている。
- 通訳や語学相談員の方に作成してもらっている。

フィリピン語
英語

PAUNAWA SA PRIBADONG PAKIKIDAPAG-USAAP SA GURO (PRINCIPAL)

個人懇談会のお知らせ

NOTICE FOR A PRIVATE CONVERSATION TO A TEACHER

★1年～6年、特別支援学級の全家庭の皆様

(1、2年生で3年～6年に兄弟がおらず、通訳が必要な児童の家庭を除く)

MGA GRADE 1 AT GRADE 2 NA WAGANG KAPATID NA GRADE 3~6 NA MGA KAILANAN ANG TAGA-PACALIN (INTERPRETER)

第1回目の個人懇談会を下記の日程で実施いたします。学習・生活のようすや夏休みの家庭学習や過ごし方等について話し合います。限られた時間内での懇談ですがよろしくお願いたします。

PARA PO SA MGA UNANG BESES NA MAKIKIDAPAG-USAAP SA GURO. TATALAKHANIN PO ANG TUNGOL SA PAG-AARAL NG ANAK. BUNAY EKWELANAN, MGA TAGAPANG ARALIN AT IBA PA. HARAMING SALAMAT DOGA INYONG

1 懇談予定日 SCHEDULE : ORAS.

BIYENES	LUNES	MARTES
7月10日(金)	7月13日(月)	7月14日(火)

- 日本語にフィリピン語と英語を併記した案内文書の一例。通訳の方に手書きしてもらっている。

Check

学校行事への保護者の参加率が増加

- ・外国人児童の保護者の理解が高まり、学校行事への参加率が増えてきた。
- ・外国人児童の保護者の学校への問合せの電話が減った。
- ・緊急の携帯メール配信も、日本語版、ポルトガル語版、平仮名版(フィリピン語、英語の保護者向け)を発信しているが、外国人保護者には伝わらないことが多い。



Act

緊急時の情報伝達も確実にしたい

- ・外国人児童の保護者の緊急情報に対する意識を高揚するため、懇談会の際に説明会をもつ。
- ・勤務時間中にメール配信しても、外国人保護者には伝わらないことが多い。事業所等への協力を依頼し、児童の安全安心を確保していきたい。

外国人児童の保護者にも確実に情報を伝達して、児童の安全安心を確保したい。